

年頭のごあいさつ

謹んで新春のごあいさつを申し上げます

組合員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当組合の事業各般にわたり格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

まずもって、昨年十一月十八日の臨時総代会で、平成三十一年四月一日に「山口県農協」発足の決議を賜りました。組合員・総代の皆様のご英断に衷心より敬意を表します。また、県下十二JAすべてにおいて合併が承認可決されましたので、今後、県下のJAと手を携え、新生JAの設立に向けて取り組みます。

さて、日本経済は、高度経済成長期を超える景気拡大が続いていると云われていますがその実感は乏しい状況にあります。また、日本とEUのEPA交渉や米国を除くTPP交渉でも農業分野の影響について動向を注視しなければなりません。

政治面でも北朝鮮情勢やヨーロッパの政情不安、米政権の世界に与える影響など不透明な状況が続くものとおもわれます。

農政では一昨年の農協法改正や長く続いた国が関与するコメの生産調整が今年産から廃止となります。農業の規制緩和や農協改革を求める声も続くでしょう。我々はこれからも歩みを止めず創造的自己改革に取り組む必要があります。

農業を取り巻く状況は農家の高齢化、農業就業人口の減少、耕作放棄地の増加などにより、農業基盤が脆弱化してきています。一方、当JA管内に於いては新規担い手の就農や基盤整備への取り組み、農家所得の増大のための高品質生産、品種更新など明るい兆しも伺えます。なお、昨年の総代会でご承認いただきましたJA出資型農業法人「周防大島ファーム」も設立の目的に沿って、優良農地・生産量の維持、担い手育成に努めております。

JAとしても、引き続きブランド力向上や六次化商品の開発、担い手の育成、直売所（ファーマーズマーケット）のチェーン化・充実など農業者の所得増大と農業生産の拡大に努める所存であります。

なお、当JAの自己改革については、経営基盤強化のための支所・店舗再編をすすめており、ご不便をおかけしておりますが、三月中には完了しますのでご理解願います。

今年もJAにとって、変革の年となりますが、役職員一丸となって組合員・地域の皆様の負託に応えるため鋭意取り組んで参ります。尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます年頭のあいさつとさせていただきます。

代表理事組合長 吉村 基